



KEIO GIRLS SENIOR HIGH SCHOOL

School Guide



Index

- p.01 校長からのご挨拶
- p.02-05 様々なキャリアの卒業生たち
- p.06 学校概要
- p.07 カリキュラム
- p.08 年間日程
- p.09 三大行事
- p.10-11 学校生活
- p.12 学校施設
- p.13 アクセスマップ



Greetings

校長からのご挨拶

慶應義塾女子高等学校
校長 鈴木千佳子



慶應義塾の創立者である福澤諭吉先生は、明治維新の世にあって、日本がその独立を果たすためには、国民それぞれが独立し、自らの考えをもってことにあることの重要性を説きました。そして、「中津留別の書」において、「男といい女といい、等しく天地間の一人にして軽重の別あるべき理なし」と述べ、世間が女性を蔑視することをたしなめ、男女同権を説き、その後も生涯にわたって女性の活躍に期待し続けました。

慶應義塾大学は、終戦後の教育改革の流れの中で大学部への女子の入学を許可し、昭和25年(1950年)に女子高が創立されました。それから今日に至るまでのおよそ70年の歴史の中で、女子高が各方面で活躍する多くの卒業生を輩出してきたことは、女子教育に対する福澤先生の卓見の結果ということができましょう。

女子高はその教育理念として、「自由・開発・創造」を掲げています。これは、日ごろから生徒を「自由」の気風の中において責任を自覚させ、成長のために自らを律して常に自分を高め、新しいものを「開発」し、未知のものを「創造」していく努力の尊さを発見してもらうための教育をおこなうという考え方です。自由の中にこそ真の独立があるということは、福澤諭吉先生の「独立自尊」という言葉にも通じるものです。

女子高には、いつも生徒たちの活気があふれ、笑い声が絶えません。これこそが、慶應義塾女子高の大きな魅力です。3学年併せて生徒数も約600人と少人数であるため、同じ学年であればみなが顔見知りになります。それぞれが互いの個性を知り、尊敬し尊重しあいながら共存し、また、先生方の目もすべての生徒に行き届いています。先生は生徒の行動を信頼し、生徒も先生と親しく接する様子は、心を和ます風景です。

これまで築きあげられた伝統を守りつつ、これからも女子高がさらに進化し、前進を続けるため、教職員一同、一心に努力してまいる所存です。

どうか女子高の、そして女子高生の「これから」を引き続き見守って下さいますよう、心からお願い申しあげます。

様々なキャリアの卒業生たち



19回生～1971年卒業～

向井千秋さん

慶應義塾女子高等学校に在学していた三年間は、とても楽しい時間でした。生徒たちはひとりひとりが型にはまることなく、のびやかで、しなやかで、たくましかった。そして、きらりと光る自分らしさを秘めていた。その一番の理由は、校風がすごく良かったからだと思います。受験校ではないこともあると思いますが、先生たちは、受験のための知識よりも自由な発想で学問を楽しむ情熱や面白さを教えてくれた。生徒に対して、こうあるべきという“大人にとっての理想の生徒像”を押し付けることなく、ひとりひとりの個性を重んじて、自由に過ごさせてくれた。かといって放任するのではなく、自分の進む道は、自己責任の中で、自分で決めて生きていきなさいと後押ししてくれた。まさに、福澤諭吉先生の教育理念である「独立自尊」が体現された教えたったように思います。

十代の多感な時期に、そんな時間が持てたことはとてもラッキーでした。おかげで社会に出てから、辛いことがあっても自分を信じていられたし、やりたいと思う気持を貫いて、自由にいろいろなことにチャレンジできたと思います。

私が体験した教えは今も変わることなく続いている、後輩たちもまた自由で明るく、楽しく、自信をもって自己の存在や意思表示をする人たちになっている。それが、とても嬉しいです。「のびやかで・しなやか・たくましく」生徒が育つとても良い校風の我が母校を誇らしく思います。

Career path

慶應義塾女子高等学校

慶應義塾大学医学部

外科医(医学博士)

宇宙飛行士(日本人女性初)／
JAXA 宇宙医学生物学研究室長
他



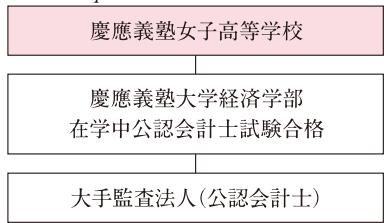
54回生のみなさん～2006年卒業～

齋藤杏奈さん

思い返すと、慶應女子高に合格したあの日、私の人生は大きく動き出しました。生徒会で会計監査局長を務めたこと、友人と教員室に押し掛けて将来について語り合ったこと、そんな女子高での経験の全てが今の自分に繋がっていると実感します。

女子高には生徒一人一人が活躍できる機会が存分にあります。多彩で快適な仲間と共に切磋琢磨した経験は、私に広い視野とチャレンジ精神を与えてくれました。最高の環境でのびのび好きなことに没頭し、バイタリティ溢れる友人と駆け抜けた三年間は、今も褪せることのない私の大切な宝物です。

Career path

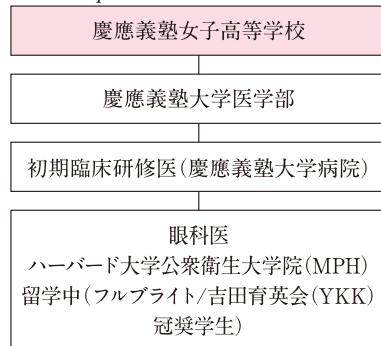


羽入田明子さん

高校受験では、国立大学の附属校を含め複数校合格していましたが、自由でのびのびとした校風に憧れ、慶應女子高に入学しました。受験がない分、課外活動や行事に思い切り取り組めること、第二外国語など幅広い選択科目を履修できることも女子高ならではの魅力です。

医師として歩み始めたばかりですが、今日の医療技術の進歩は著しく、職域を超えたチーム医療が不可欠です。まさに、女子高時代に培われたそれぞれの個性を尊重し、皆で協力して一つのものを成し遂げるという経験がそのまま活かされていると思います。

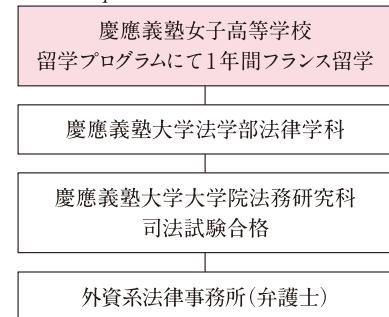
Career path

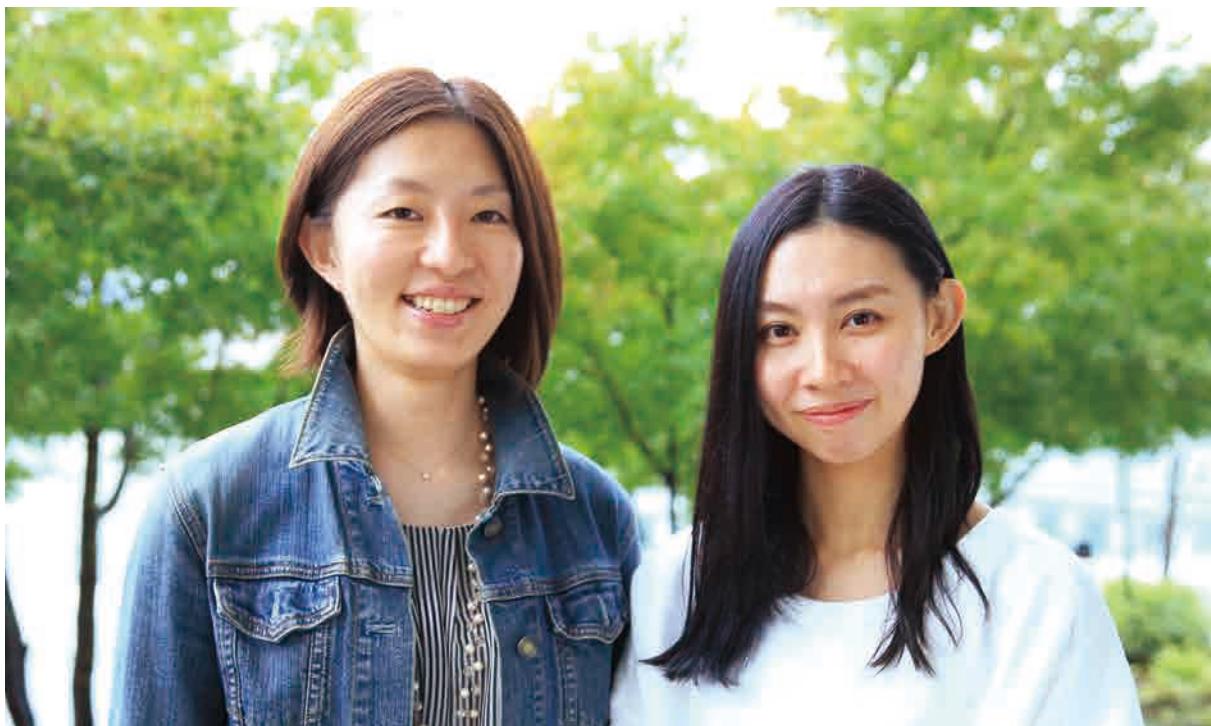


瀧澤 楠さん

国際的な仕事がしたい。その夢を叶えられる場所だと思い、私は女子高への進学を決めました。入学後は、国際ロータリークラブの奨学生としてフランスに留学しました。そしてそこで国際弁護士になるという新たな夢を見つけました。弁護士には文章力が不可欠です。女子高では80枚創作など文章を書く課題が多くあり、先生方の丁寧なご指導や才能豊かな友人たちから受けた刺激のおかげで、文章力に自信につけることができました。私にとって女子高は、好きな勉強に打ち込み、夢を見つけ、それを叶える力を身につけることができたかけがえのない場所になりました。

Career path





51回生のみなさん～2003年卒業～

中島杏奈さん

私はいまシンガポールにいて、国籍も文化も違う人たちと仕事をしているのですが、異国の地でも物怖じせずにいられるのは、女子高での経験が大きかったと思っています。演劇会や運動会などの行事や部活動で責任ある役を任されて、個々に自己主張を始める集団をどうしたらまとめられるか、考えて実践しているうちに、目標に向って前に進むためのプロセスを学ぶことができました。それが、今の仕事につながっていると思います。むしろ、女子高時代のほうが厳しかった気がするほどです。逃げずにやり遂げたからこそ得られた達成感、突き抜けて頑張る楽しさを教えてくれました。女子高での経験はかけがえのない財産になっています。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学経済学部
株式会社三井UFJ銀行
アジア・オセアニア本部 (シンガポール赴任中) (マネージャー)

朝吹真理子さん

女子高での高校生活はとても楽しかったです。様々な個性が存在する、小さな社会。その中で過ごすうち、人と人とのちょうどいい距離感を自然と身に付けられたように思います。先生たちの力も大きいと思うのですが、一人一人が自立した大人の振る舞いになるんです。他人の行動が自分と違っても、それも個性と認めて尊重し合う。たとえば、私は運動音痴で運動会はとても苦手。それをクラスメイトはただ受け入れて、周りでどうカバーすればいい結果を出せるかを真剣に考えてくれた。だから、私もできることを探して、自分なりに頑張ろうと思って楽しめました。今振り返ると、そんな女子高での三年間が、自分の人間性を決めてくれた気がします。

Career path

慶應義塾女子高等学校
慶應義塾大学文学部
慶應義塾大学大学院 文学研究科国文学専攻 在学中「新潮」で小説を書く
作家(芥川賞 他受賞)／アーティスト

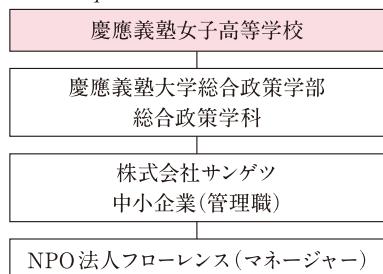


41回生のみなさん～1993年卒業～

前村美千代さん (左)

自分でやりたいと思ったことには、臆せずにチャレンジしようと思える自信と勇気をもらいました。会社を辞めて7年ぐらい子育てに専念すると決めた時も、私はまた復帰できると自分を信じていらました。

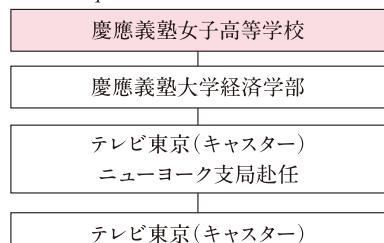
Career path



末武里佳子さん (左2番目)

女子高の三年間で、人前に出ても誰に対しても物怖じせずにいられる度胸がついた気がします。主張もするけど、協調もできるキャラクターを授けてもらいました。それを見守ってくれる先生の存在もとても大きかったです。

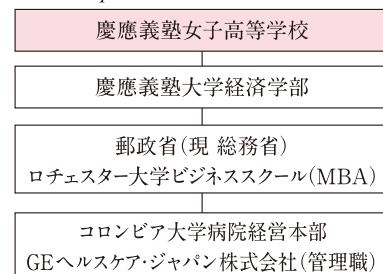
Career path



松葉香子さん (中央)

女子高での全ての経験は、卒業後十年以上経ってから本当に役に立っていると実感しています。大らかな先生や友人から、こうでなければダメと決めつけることなく、そのままでいいと多様性を受け入れることを学びました。

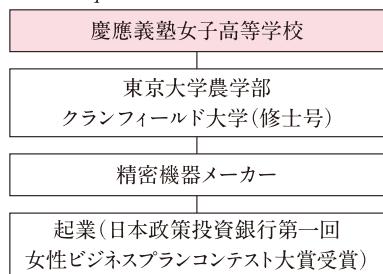
Career path



加藤百合子さん (右2番目)

女子高特有のパワーや適応力を肌で感じていたので、未経験なことへの不安がなくなりました。おかげで卒業後にも、たとえできなくとも自己否定などせずに、やりたいと思ったことに果敢にチャレンジできました。

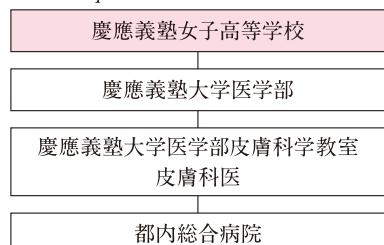
Career path



石原幸子さん (右)

人それぞれやりたいことは違っていいと、お互いを尊重する。多感な時期に、その空気を経験できて良かったです。自分の目指す道に向かって精一杯頑張ればいいと、先生方や友人に背中を押してもらいました。

Career path



※「女子高」という記述はすべて慶應義塾女子高等学校を指します。
※キャリアパスは取材時点のものです。

学校概要



慶應義塾の建学の理念

慶應義塾の創立者福澤諭吉は、学問を修める過程で、「智徳」とともに「気品」を重視し、社会の先導者にふさわしい人格形成を志しました。福澤が門下生たちにその志を託した「慶應義塾の目的」と呼ばれる一文があります。「慶應義塾は単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず。其目的は我日本国中に於ける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、之を実際にしては居家、処世、立國の本旨を明にして、之を口に言ふのみにあらず、躬行実践、以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」これは慶應義塾の真に目的とするところを最も簡明に言い表した一文として知られています。明治5年、福澤諭吉は『學問のすゝめ』初編で学問の重要性を説き、「身も独立し家も独立し天下國家も独立すべし」と教えました。この精神は「独立自尊」の四字に要約され、慶應義塾のモットーとなっています。

慶應義塾女子高等学校の 教育理念

「独立自尊」の精神の涵養(かんよう) ～自由・開発・創造～

本校は生徒を細かな校則で型にはめるのではなく、それぞれの個性を尊重しながら、自由な雰囲気の中で共に学ぶ学校です。慶應義塾は一貫教育を行なっており、大学入試を目的にすることはありません。生徒が自由に学び、一人ひとりの中に眠る優れたものを自らが考え、開発・発育させ、そして自身の生き方・新しい世界を創造していく機会や場をつくることが、慶應女子高の教育です。福澤諭吉が説いた「独立自尊」の精神は、本校の教育の中に脈々と生きています。自分を大切にし、他人の立場と意見を尊重し、自分を愛する気持ちで隣人を愛する人となるよう、知性を磨き情操を育てるのです。

慶應義塾と本校の歴史

安政5年(1858)	江戸築地鉄砲洲に蘭学塾を開く。 福澤塾と呼ばれる。
慶應4年(1868)	芝新銭座に移り、「慶應義塾」と命名する。
明治4年(1871)	現在の三田山上に移る。
明治7年(1874)	和田塾による初等教育を始める。 後に幼稚舎となる。
明治23年(1890)	大学部を設け、文学科・理財科(後の経済学部)・法律科が置かれる。
明治31年(1898)	普通学科を設置し、中等教育を始める。 後に普通部となる。
昭和22年(1947)	中等部を設置し、男女共学を始める。
昭和23年(1948)	幼稚舎、男女共学となる。 高等学校と志木高等学校を設ける。
昭和25年(1950)	女子高等学校を現在地に設ける。
昭和49年(1974)	女子高等学校の現校舎が完成する。
平成2年(1990)	ニューヨーク学院(高等部)を設ける。
平成4年(1992)	湘南藤沢中等部・高等部を設ける。
平成12年(2000)	女子高等学校創立50周年を迎える。
平成25年(2013)	横浜初等部を設ける。
平成26年(2014)	女子高等学校の別館が完成する。

*Curriculum*

カリキュラム

豊富な選択科目の中から、興味のあるものを

1年次には、特定の分野に偏らない幅広い基礎的な知識と教養を習得します。

2年次からは豊富な選択科目が設置されています。選択科目では、生徒各自の進路や知的興味に応じた専門的・学究的な知識と教養を習得していきます。例えば、フランス語や中国語などの外国語や、本校教員だけでなく慶應義塾大学の教員が担当する専門的な内容の授業を履修することができます。

特色ある教育としては、国語科において、2年次には原稿用紙80枚以上的小説を執筆する「80枚創作」、白居易の漢詩をそらんずる「長恨歌暗誦」、3年次には文学作品に関する論文を作成する「国語科レポート」などの課題があります。これらは、すべての基礎となる日本語力を高めることを目標にしています。



第1学年設置科目

必修科目 〈32時間〉	現代の国語、言語文化、地理総合、公共、数学I、数学A、化学基礎、生物基礎、体育、英語コミュニケーションI、論理・表現I、家庭総合、情報I、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目 〈2時間〉	芸術（音楽I、美術I）

第2学年設置科目

必修科目 〈26時間〉	文学国語、古典探究、歴史総合、政治・経済、数学II、物理基礎、体育、保健、英語コミュニケーションII、家庭総合、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目 〈2時間〉	外国語（論理・表現II、ドイツ語、フランス語、中国語）
自由選択科目 〈6時間〉	国語演習、地歴演習、公民演習、数学B、化学、生物、工芸I、書道I、器楽A、声楽A、絵画A、英語演習、家庭演習、情報II

第3学年設置科目

必修科目 〈14時間〉	論理国語、古典探究、体育、英語コミュニケーションIII、総合的な探究の時間、HR
必修選択科目 〈6時間〉	地理歴史（日本史探究、世界史探究）、 外国語（論理・表現III、ドイツ語、フランス語、中国語）
自由選択科目 〈14時間〉	国語演習、社会演習、数学III、数学C、数学演習、物理、化学、生物、科学と人間生活、 地学基礎、理科演習、体育演習、器楽B、声楽B、絵画B、造形、総合書道、英語演習、 家庭演習、情報II、情報演習

年間日程

本校では、学問や知識だけでなく、様々な行事を通じて多元的な視点を養い、知性や情操を育てていきます。

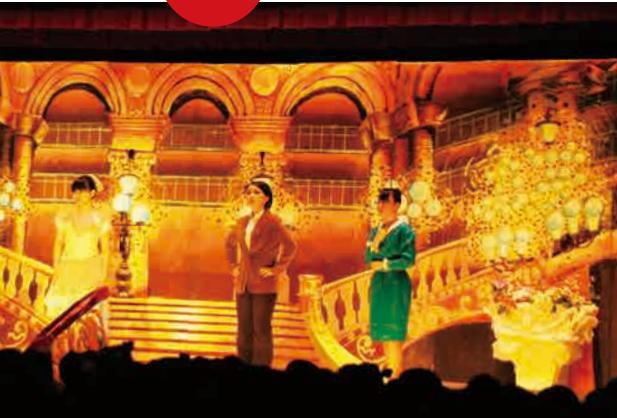
4月 <i>April</i>	● 入学式 ● オリエンテーション ● 開校記念日(23日)	
5月 <i>May</i>	● 学年別旅行(1年野外活動[草津]、 2年研修旅行[奈良]、3年修学旅行[京都]) ● 実力テスト(1、2、3年) ● 校内対抗戦	
6月 <i>June</i>	● 演劇会 ● 学部紹介	
7月 <i>July</i>	● 定期試験(1、2、3年) ● 夏季休業(20日頃から)	
8月 <i>August</i>		
9月 <i>September</i>	● 2学期開始(6日頃) ● 実力テスト(3年)	● 運動会 
10月 <i>October</i>	● 十月祭	
11月 <i>November</i>	● 実力テスト(1、2、3年)	
12月 <i>December</i>	● 定期試験(1、2年) ● 冬季休業(20日頃から)	
1月 <i>January</i>	● 3学期開始(8日頃) ● 福澤先生誕生日(10日)	● 定期試験(3年) ● 推薦入学試験 
2月 <i>February</i>	● 福澤先生御命日(3日) ● 一般・帰国生入学試験	
3月 <i>March</i>	● 定期試験(1、2年) ● 卒業式 ● 春季休業(20日頃から)	

*Three major events*

三大行事

本校の年間最大行事は、6月の演劇会、9月の運動会、10月の十月祭です。生徒たちがすべてを企画運営します。演劇会では「クラス単位」、運動会では「全学年同クラス単位」、そして十月祭では「各クラブ単位」で、一つの目標に向かって力を合わせます。三年間で学年やクラスを超えた幅広い人間関係を築き、協調する力や人間力など大きな成長をもたらします。

6月 演劇会

*Student's voice*

役者から裏方仕事まで、クラス一丸となって舞台をつくります。

6月に開催される演劇会は、クラス全員で協力し劇を一から作り上げ、普段の学校生活では見ることのできない生徒の才能や魅力が存分に發揮される行事です。伝統を継承しつつ、その時々に応じてよりよい解決策を見出す難しさを実感しました。行事の運営を通して周りの意見を聞き、決断する力が身についたと思います。

(演劇会実行委員長 Y.K.さん 演劇会副実行委員長 S.K.さん)



9月 運動会

*Student's voice*

チームプレイや大会運営を通して、学年を超えた絆を深めます。

女子高の三大行事の一つである9月の運動会は女子高生の白熱した姿を見るることができます。実行委員が主体となり、夏休み前から準備を始め、本番を迎えます。学年の枠を超えた繋がりを持つ事ができるのも運動会の魅力の一つです。実行委員長を経て、自ら動くこと、大所帯をまとめることの難しさを経験することができました。

(運動会実行委員長 A.T.さん 運動会副実行委員長 H.H.さん)



10月 十月祭

*Student's voice*

伝統ある文化祭。クラブごとに力の入った催しが盛り沢山。

唯一の外部公開行事である十月祭は、部活動単位で参加するため、クラスや学年を超えた繋がりを深めることができます。「青春の発露」の場として生徒が個性とアイデアを最大限に発揮できるように、実行委員会で毎日話し合いました。安全な進行を守りながら自由を認めるこの難しさを学び、広い視野で物事を考えられるようになりました。

(十月祭実行委員長 S.K.さん 十月祭副実行委員長 M.H.さん)



学校生活



生徒会

本校の生徒会は、生徒によって自主的に運営されており、生徒会長、副会長を中心として、様々な委員に分かれて活動しています。日常生活のあり方から、服装、三大行事でのふるまい方まで、生徒たちが自らの学校生活を向上させるためのシステムを作りあげています。4月に行なわれるオリエンテーションも生徒会が中心となって行ないます。堅苦しいことは一切抜きのショータイムで、女子高生活を紹介します。



Student's voice



自分たちのちからで創る

私たち生徒会は、女子高生の生活が少しでも快適なものになるよう代表委員会で話し合いを重ねています。活動内容は新入生のためのオリエンテーションや十月祭でのバザーなどさまざまです。一年間の任期を通じ、学校という大きな組織を動かす上で計画力の重要さを学びました。生徒会という形で女子高に関われたことを、心から誇りに思います。

(生徒会長 N.S.さん 副生徒会長 M.H.さん)



■ クラブ活動

本校では健全なクラブ活動を奨励しています。文化系と体育系のクラブがあわせて30以上もあります。これらのクラブは本校生徒が単独で活動するもの、日吉の慶應義塾高等学校と連携で活動するもの、大学生の指導を受けるものなどさまざまですが、どのクラブに入っても高校時代に自分の力を伸ばし、自分を発見するという貴重な体験ができます。

文化系クラブ	体育系クラブ
<ul style="list-style-type: none"> アイリッシュハープアンサンブル 英語会 演劇部 楽友会 華道部 奇術部 軽音楽部 茶道部 生物研究会 電子計算機研究会 天文研究会 美術部 漫画研究会 マンドリンクラブ ワグネルソサイエティオーケストラ クッキング同好会 	<ul style="list-style-type: none"> アーチェリークラブ 弓術部 競走部 剣道部 ゴルフ部 水泳部 スキー部 スケート部 卓球部 庭球部 馬術部 バスケットボール部 バドミントン部 バトン部 バレーボール部 ラクロス部



アイリッシュハープアンサンブル



茶道部



ラクロス部



バトン部

■ 国際交流



本校には、「慶應義塾一貫教育校派遣留学制度」をはじめとする短期・長期の様々な留学プログラムが用意されており、海外名門校への留学の機会が設けられています。生徒たちは、ホームステイや寮生活を送りながら、語学研修や現地校通学を経験することができます。また、国際ロータリークラブを通じて、アメリカ、メキシコ、タイ、ヨーロッパ諸国からの長期留学の生徒の受け入れも行なっています。これらの国際交流は、英語によるコミュニケーションの上達とともに、異文化理解を深め、国際的な視野を広げる育成に役立っています。

プログラム名	留学先・期間	応募資格	人数	備考
慶應義塾一貫教育校 派遣留学制度	高3(米国)コース Phillips Academy Andover …1年間 Phillips Exeter Academy …1年間	2年生	慶應義塾 一貫教育校 (高校段階) 全体で留学 先ごとに1名 ずつ	現地高校通学・学校寮
	高2(米国)コース Deerfield Academy …1年間 The Taft School …1年間 The Hotchkiss School …1年間 Choate Rosemary Hall …1年間	1年生		
	高2(英国)コース Shrewsbury School …1年間	1年生		
ニュージーランドプログラム	クリストチャーチ Rangi Ruru Girls' School…3週間(2~3月)	3年生	約4名	現地高校通学・ホームステイ
	ダニーデン Columba College…3週間(2~3月)	3年生	約4名	現地高校通学・学校寮
カナダプログラム	ピクトリア St. Michaels University School…3週間(2~3月)	3年生	約6名	現地高校通学・ホームステイ
イギリスプログラム	サッチャム Downe House School…3週間(2~3月)	3年生	2名	現地高校通学・学校寮
	リックマンズワース The Royal Masonic School for Girls…3週間(2~3月)	3年生	約4名	現地高校通学・学校寮
国際ロータリークラブ 青少年交換プログラム	フランス・ドイツ・ オーストラリア・トルコ他…1年間	1・2年生	1~2名	現地高校通学・ホームステイ
AFS年間派遣プログラム	アメリカ・メキシコ他…1年間	1・2年生	特に制限なし	現地高校通学・ホームステイ

学校施設



伝統の趣、
充実の学習環境。
ゆたかな情操を育む
学びの場。

本校は、元徳川邸の敷地に建てられたため、武家屋敷の片鱗を留めています。純日本風の門や幾種もの樹木が繁る日本庭園があり、都心でありながら情緒ある雰囲気を与えています。2014年度より別館校舎が加わりさらに充実した学習環境が整いました。

また、女子生徒が安心・安全で快適な学校生活を送れるよう、様々な施設が整っています。慶應義塾大学保健管理センターなどの医師が校医として勤務している保健室・カウンセリングルーム、24時間警備員の配置、校舎外周は弾力性のある路面となっています。そして、メニューと豊富な食堂ホール、大きな鏡やウォシュレット機能を設置した洗面所、いつでも自由に先生や生徒たちが団欒できる談話室などがあります。クラブ活動や課外活動・自習などでは、慶應義塾大学などの様々な施設を利用しています。





Access

アクセスマップ



住所・連絡先

〒108-0073 東京都港区三田 2-17-23
tel.03-5427-1674 fax.03-5427-1675
<http://www.gshs.keio.ac.jp>
e-mail inquiry@gshs.keio.ac.jp

交通アクセス

JR 田町駅 徒歩 10 分
都営地下鉄 三田駅 徒歩 8 分
東京メトロ・都営地下鉄 白金高輪駅 徒歩 10 分
東京メトロ・都営地下鉄 麻布十番駅 徒歩 20 分
都営地下鉄 赤羽橋駅 徒歩 20 分



慶應義塾女子高等学校

〒108-0073 東京都港区三田 2-17-23
tel.03-5427-1674 fax.03-5427-1675 <http://www.gshs.keio.ac.jp>